

衣浦東部広域連合のあゆみ【1994(発足準備)~2003(発足)~2008】

平成6年(1994)	9月	・消防庁から「消防広域化基本計画の策定指針」が出される。
平成7年(1995)	7月	・愛知県職員を招き、関係5市(碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市)の消防長、消防本部庶務担当課長による消防広域化について研修会を開催。
平成8年(1996)	2月	・関係5市企画担当課長及び消防本部庶務担当課長会議において、消防広域化の必要性を検討し、「平成8年度から消防において広域化を検討する組織を設ける」方針が出される。
	5月	・関係5市の消防長で構成する「常備消防広域化検討委員会」が発足。
平成10年(1998)	10月	・広域消防組織検討部会を開催し、総務分科会、人事分科会及び財務分科会の3分科会を設ける。
平成12年(2000)	10月	・衣浦東部広域行政圏協議会のもとに広域消防企画検討室を設置。
平成13年(2001)	2月	・衣浦東部広域行政圏協議会において、消防を中心とした広域連合の設立を平成15年4月1日とすることで合意。
	3月	・関係5市の議会に衣浦東部広域行政圏協議会の検討結果について中間報告を提出。
	4月	・広域消防企画検討室のもとに総務、財務、人事、警防、予防及び通信の6部会と6分科会を設置。
	7月	・衣浦東部広域行政圏協議会のもとに広域連合設立準備室を設置。
平成14年(2002)	3月	・広域連合設置議案を関係5市の3月議会において上程、可決。
	4月	・広域連合設立準備室職員を常勤10名体制に拡充。
	5月	・愛知県知事から衣浦東部広域連合の設置許可が交付される。(13日)
	6月	・通信指令施設の契約議案を刈谷市議会に上程。契約を締結。 ・広域連合事務所の工事契約を締結。
	11月	・広域連合消防章が決定。
平成15年(2003)	2月	・広域連合事務所が完成。
	3月	・通信指令施設が完成。
	4月	・ 衣浦東部広域連合が発足。(1日) ・衣浦東部広域連合消防局音楽隊が発足。 ・合併時救急救命士44名救急車数15台。 ・救急活動要領、資器材等の統一化へ向けて検討開始。 ・全署所(12署所)へ救急消毒室を順次設置、改修工事開始。
	12月	・衣浦東部広域連合消防計画を策定。
平成17年(2005)	1月	・衣浦東部広域連合消防局消防出初式を開催。
	4月	・緊急消防援助隊に9隊を登録。 (消火部隊5隊、救助部隊2隊、救急隊1隊、特殊装備(はしご)1隊) ・女性消防吏員1名を連合発足後新規採用。(女性消防吏員計2名に) ・愛知万博「万博消防」に職員5名を派遣。
平成18年(2006)	4月	・緊急消防援助隊に救急隊1隊を追加登録し、10隊となる。 (消火部隊5隊、救助部隊2隊、救急隊2隊、特殊装備(はしご)1隊)
	6月	・住宅用火災警報器設置義務化条例施行。
	8月	・メール119の運用開始。
平成20年(2008)	3月	・碧南消防署、碧南北分署、安城消防署、安城南分署、知立消防署及び高浜消防署の消毒室設置工事が完了。



平成15年(2003)
エンブレム



平成16年(2004)衣浦港テロ対策訓練



平成17年(2005)救命技術発表会



平成17年(2005)救助技術大会



平成18年(2006)出初式



平成20年(2008)出初式

衣浦東部広域連合のあゆみ【2009~2018】

平成21年(2009)	2月	・安城西出張所の消毒室設置工事が完了。
	4月	・指揮調査隊の運用開始。 ・緊急消防援助隊に後方支援隊1隊を追加登録し、11隊となる。 (消火部隊5隊、救助部隊2隊、救急隊2隊、特殊装備(はしご)1隊、後方支援隊1隊) ・防火対象物台帳及び危険物台帳を統一。
	12月	・指揮調査車庫を新築。
平成23年(2011)	3月	・東日本大震災により緊急消防援助隊出動。[宮城県亘理町、山元町] (4月24日まで延べ45日間、30隊136人派遣)
	12月	・救助艇碧(みどり)号更新。
平成25年(2013)	4月	・多言語コールセンターサービスの運用開始。
	10月	・平成25年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を実施。(碧南市港南町、港本町)
平成26年(2014)	5月	・救急救命士教育体制の構築、救急救命士教育の開始。
	8月	・碧海地区建築消防行政担当者会議を開催。
	10月	・御嶽山の噴火により緊急消防援助隊出動。[長野県木曾郡王滝村] (10月22日まで延べ8日間、3隊15人派遣)
平成27年(2015)	3月	・消防救急デジタル無線運用を開始。
	4月	・煙火消費許可及び液化石油ガスの一部許認可事務権限移譲。
	5月	・各庁舎外に市民が持ち出し可能な施設用AED設置。
平成28年(2016)	1月	・バイスタンダーフォローアップカード配布開始。
	4月	・緊急消防援助隊に消火隊1隊を追加登録し、12隊となる。 (消火部隊6隊、救助部隊2隊、救急隊2隊、特殊装備(はしご)1隊、後方支援隊1隊)
	5月	・伊勢志摩サミット消防特別警戒に職員6名を派遣。
	11月	・全救急隊に自動式心マッサージ器の配備完了。
平成29年(2017)	3月	・高機能消防指令システムを更新。 ・集団救急災害用資器材配備を開始。
	4月	・愛知県の都道府県違反是正支援アドバイザー就任。 ・緊急消防援助隊に救急小隊2隊、特殊装備小隊(水槽)1隊を追加登録し、15隊となる。 (消火小隊6隊、救助小隊2隊、救急小隊4隊、特殊装備小隊(はしご)1隊、特殊装備小隊(水槽)1隊、後方支援小隊1隊) ・消防課の組織体制を消防係、救急救助係から消防係、救急係とする。
	4月	・緊急消防援助隊に消火小隊1隊を追加登録し、16隊となる。 (消火小隊7隊、救助小隊2隊、救急小隊4隊、特殊装備小隊(はしご)1隊、特殊装備小隊(水槽)1隊、後方支援小隊1隊) ・4月から都市型捜索救助訓練を開始。 ・西三河地区メディカルコントロール協議会事務局となる。 ・衣浦東部広域連合査察規程の全部改正。 ・重大違反対象物の公表制度運用開始。 ・高度査察員制度運用開始。
平成30年(2018)	7月	・平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊出動。[岡山県倉敷市](7月12日まで延べ7日間、3隊11人派遣)
	10月	・夜間特別査察開始。 ・全署所に救急資器材管理システム(SPD)導入。
	11月	・全署所に訓練用高度救急救命処置シミュレーター配備完了。(集合教育用も含め14体)
	4月	



平成23年(2011)
東日本大震災により緊急消防援助隊出動



平成23年(2011)救助艇 碧(みどり)号更新



平成26年(2014)
御嶽山の噴火により緊急消防援助隊出動



平成28年(2016) 警防技術交換会



平成30年(2018) 都市型救助捜索



平成30年(2018) 局大規模訓練



平成30年(2018)
平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊出動

衣浦東部広域連合のあゆみ【2019~2024】

令和元年(2019)	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・碧南北分署車庫を新築。 ・テロ災害対策として講演会・教育実施。 	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・テロ対策用資器材としてターニケット(止血帯)を全救急車に配備。 ・ラグビーワールドカップ2019™消防特別警戒[豊田市]に職員10名を派遣。 	
令和2年(2020)	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省消防庁より高機能救命ボートが配備される。 ・消防庁長官から竿頭綬を授与される。 	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・NET119緊急通報システムの運用開始。 	
令和3年(2021)	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・予防行政事務の電子申請実証実験参加。(ぴったりサービス) ・緊急消防援助隊に毒劇物等対応小隊1隊を追加登録し、17隊となる。(消火小隊7隊、救助小隊2隊、救急小隊4隊、特殊装備小隊(はしご)1隊、特殊装備小隊(水槽)1隊、後方支援小隊1隊、毒劇物等対応小隊1隊) 	
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・防火フードの運用を開始。 	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対応救急隊、7隊にアイソレーター(感染症患者搬送具) 配備完了。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い全救急車に救急車内隔離板設置完了。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い全救急車にオゾン発生器設置。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い全救急車にストレッチャー用エアロゾルフレームカバー配備。 ・スマートフォンに医療機関へ画像や動画を送信できるアプリを導入。 ・スマートフォンに救急隊多言語音声翻訳アプリを導入。 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流災害により緊急消防援助隊出動。[静岡県熱海市](7月19日まで述べ10日間、4隊18人派遣) 	
	令和4年(2022)	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動(ホットトレーニング)研修会を開始。
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・救助服型活動服の運用を開始。 ・伊勢湾岸自動車道に刈谷スマートインター開設に伴い、高速道路等災害対応資器材配備。 	
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急消防援助隊に後方支援小隊1隊を追加登録し、18隊となる。(消火小隊7隊、救助小隊2隊、救急小隊4隊、特殊装備小隊(はしご)1隊、特殊装備小隊(水槽)1隊、後方支援小隊2隊、毒劇物等対応小隊1隊) 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防救助教育訓練(水面救助訓練)を実施。 		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・高度救助隊の運用開始となる。(刈谷消防署、安城消防署) 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・予防行政事務の一部電子申請受付開始。 ・映像通報119の運用開始。 		
令和5年(2023)	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・衣浦東部広域連合創立20周年を迎える。 ・救急救命士137名、救急車数16台(予備車含む)、指導救命士数13名。 	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・衣浦東部広域連合創立20周年記念イベント「キヌフェス」開催。 	
令和6年(2024)	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震により緊急消防援助隊出動。[石川県輪島市](1月31日まで延べ31日間、27隊110人派遣) 	



令和元年(2019) もっとしろうよきゅうQたい



令和2年(2020) 高機能救命ボート配備



令和2年(2020) 高機能救命ボート訓練



令和2年(2020) 局大規模合同訓練



令和3年(2021) アイソレーターの配備



令和4年(2022) 警防技術交換会



令和5年(2023) 西三河NBC訓練



令和6年(2024) 能登半島地震により緊急消防援助隊出動